

タイトル「**2023年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー							
科目名	危機管理学研究演習 I						
担当教員	小谷 賢						
対象学年	1年,2年	開講学期	前期				
曜日・時限	金 4						
講義室		単位区分	必				
授業形態	演習	単位数	1				
科目大分類	統合演習						
科目中分類	危機の大学院修士課程カテゴリ						
科目小分類	4 統合・演習						
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1（意欲・経験・適性）災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代社会における様々な危機に対する高い関心と深い洞察（20%） D P 2（学識・専門技能）在外、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能（20%） D P 3（思考力・判断力・表現力）客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し、説得的に表現する力（40%） D P 4（主体性・多様性・協働性）多様な価値観や立場を尊重しつつ、自らの明確な考えをもとに、他者をとコミュニケーションを確立する能力（20%）						
教員の実務経験	2004年から2016年まで防衛省防衛研究所において、安全保障や戦史の研究、教育等に携わった。その間、防衛研究所企画室情報発信調整官、英国王立防衛安保問題研究所（RUSI）客員研究員、防衛大学校講師などを歴任。第1～15回。						
成績ターゲット区分							
科目概要・キーワード	危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために,必要な社会科学的研究手法を学び,学生が自らテーマを設定し,論文を執筆し,成果を発表するための指導を行う。本演習では,危機管理学,法学に関する研究手法の修得,テーマの探求,先行研究の評価,資料の収集とテキスト分析を含む基礎的研究プロセスを扱う。これらの研究プロセスを通じて,学識・専門技能に加え,判断力・思考力・表現力,更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とします。 授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためにオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：研究手法、テーマ探求、先行研究、資料収集、資料分析、ニュータイプ						
授業の趣旨	■副題 Intelligence and National Security Studies ■授業の目的 インテリジェンスと国家安全保障に関するテーマについて取り上げて学んでいきます。これらの学修を通じて、学識・専門技能に加え、意欲・経験・判断力・思考力・表現力・主体性・計画性・協働性といった各汎用的能力を開発し、来る大戦に備えます。 ■授業のポイント 当科目では、学生による2か年間の自主的な研究活動の第一段階として、社会科学的アプローチによって解決すべき危機管理上の社会的課題の探求、先行研究の検索と整理・検討から始めて、その問題解決を学術的に研究するための研究計画を立案します。その後、研究計画に基づき、先行研究の読み込み、社会的課題の解決策、その仮説を立証するために必要なポイントの整理と研究を行っています。						
総合到達目標	■危機管理に関する社会科学的課題に対し、強い関心を持って客観的に洞察することができる。 ・危機管理情報問題を自己の経験や目標と関連付け、研究意欲につなげることができる（第1～15回）。 ・危機管理上の問題について、学術的な研究対象として洞察することができる（第1～15回）。 ■危機管理学に関する問題を社会学的手法によって分析することができる。 ・危機管理上の問題をインテリジェンスや安全保障の理論や概念に基づいて読解することができる（第1～15回）。 ・危機管理上の問題に関連する課題を論理的に解釈し、その成果を適切に表現することができる（第1～15回）。						
成績評価方法	■授業参加度（15回）30% （評価の観点）学術的な姿勢、計画性や実行力を評価します。 （フィードバックの方法）授業中にフィードバックします。 ■研究進捗報告（5回）70% （評価の観点）学術研究としての粋統、プレゼンテーションの技術、配布資料の完成度を評価します。 （フィードバックの方法）授業中に講評を行います。						
履修条件	特になし。						
履修上の注意点	特になし。						
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 当該科目の到達目標や授業計画、授業運営や成績評価方法について、ガイダンスを開き、個別質問をすることで想起できるようになる（DP-1, 2, 3, 4） ③予習（120分） シラバスの内容を精読し、当科目の学修計画を作成する。</td></tr></table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 当該科目の到達目標や授業計画、授業運営や成績評価方法について、ガイダンスを開き、個別質問をすることで想起できるようになる（DP-1, 2, 3, 4） ③予習（120分） シラバスの内容を精読し、当科目の学修計画を作成する。		
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 当該科目の到達目標や授業計画、授業運営や成績評価方法について、ガイダンスを開き、個別質問をすることで想起できるようになる（DP-1, 2, 3, 4） ③予習（120分） シラバスの内容を精読し、当科目の学修計画を作成する。						

	④復習（120分） 講義ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
3	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
4	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
5	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
6	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
7	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
8	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
9	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分）

	ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
10	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
11	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
12	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
13	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
14	①授業テーマ 危機管理に関する社会学的研究の研究計画書作成 ②授業概要 危機管理と社会科学に関する社会問題や先行研究を調査し、報告資料にまとめてプレゼンするとともに、受講者同士のディスカッションを通じてその課題の抽出と解決方法の提案、検証が行えるようになる（DP1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 危機管理と社会科学に関する先行研究を調査し、その情報と概要をリスト化する。 ④復習（120分） ディスカッションでの論点や他社の意見を整理し、各首長の論拠となる先行研究の有無を調査し、その結果を指導教官と受講者に報告する。
15	①授業テーマ 授業総括 ②授業概要 授業総括を通じて、当科目での学習内容や自己の到達度を説明できるようになるとともに、授業参加度のフィードバックを通じて、学識・専門技能・意欲・経験・適性・思考力・判断力・主体性・多様性・協働性に関する気づきや成長について具体例を挙げながら説明することができる（DP-1, 2, 3, 4）。 ③予習（120分） 授業ノートと配布資料を読み直し、科目を通じて自分が習得した知識・技能・態度を論じられるように準備する。 ④復習（120分） 授業総括および教員からのフィードバックを振り返り、自分の考えを再検証する。修士論文執筆のための構想を立てられるように準備する。
関連科目	危機管理学基礎演習Ⅱ、危機管理学基礎演習Ⅲ、危機管理学基礎演習Ⅳ
教科書	教科書は使用しません。
参考書・参考URL	授業内で適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■オフィスアワー：開講年度のオフィスアワーリストをご確認ください。 ■連絡先：開講時に伝えます。
研究比率	■危機管理学領域での対応 災害マネジメント25%、パブリックセキュリティ25%、グローバルセキュリティ25%、情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学90%、法学10%



